

関西大倉中学校 プレテスト 国語

(平成二十八年 十一月 十三日 実施)

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本文省略 五十六行

問一

A・Bに入る言葉として、最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア けれど      イ または      ウ ところで      エ だから      オ すると      カ なぜなら

問二

1に入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 自分が選んだ人生と身体を大切に作るしかない  
イ ほかの人の身体や人生をうばうことはできない  
ウ その人の与えられた身体と人生を生きるしかない  
エ 望んでも私と同じような人生を歩むことはできない  
オ どのような人生にしたいかを自分で考えるしかない

問三

——線2「精神的に自立する」とありますが、どのようになったときにそうなるのですか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問四

——線3「とまどったり、びっくりしたりしてしまいます」とありますが、どのようなときにそうなるのですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 友だちの中に知り得ない一面があるのは当然だと知ったとき。  
イ 関係がとても近い人の、思ってもみなかった一面を見たとき。  
ウ 知り合ったばかりの人の、考えもしない一面に気づいたとき。  
エ とても親しい友だちの、信じたくない一面を見せられたとき。  
オ 親しい人が持っている別の一面を、他人から教えられたとき。

問五

——線4「自分の何が相手にそのような態度をとらせたんだろう?」とありますが、このように考え始めることに対する筆者の意見として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア どうでもいいことで怒ったり機嫌が悪くなったりする人を理解するのは難しいので、相手の行動の理由は気にしない方がよい。

イ なぜそのような態度を相手がとったのかを考えることは大切だが、考えてもわからない場合はいつまでもこだわらない方が良い。

ウ 相手をよく見てその動機を考えるのはとても素晴らしいことで、このように考える習慣をつけられるように努力した方が良い。

エ すべての原因は自分にあると思いつくせがいついて度をこした自己否定につながる人が多いため、このように考えるのは良くない。

オ 自分のことだけでなく、自分に対してそのような態度をとった相手のことも否定することになり二人の関係が悪くなるため、良くない。

問六 ——— 線5 「コミュニケーション力」とありますが、どのような力だと筆者は考えていますか。四十字以内で説明しなさい。

問七 ——— 線6 「自立する上では大事な流儀」とありますが、どのような流儀ですか。本文全体の内容をふまえて、七十五字以内で説明しなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本文省略 百一行

注1 調律師：楽器を正しい音の基準に調整するのを仕事とする人。

注2 クレーム：苦情。

問一  Aに入る言葉として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 腹    イ 気    ウ 虫    エ 風    オ 口

問二 ——— 線1「ぜんぜん悪くなかった」とありますが、

(1) このときの柳さんの気持ちとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア お客さんに苦情を言われて気落ちしているであろう「僕」を、なくさめたいと思っている。

イ 一度ひどい言葉を言われただけで落ちこむ様子を見て、「僕」の先行きが心配になっている。

ウ 腕がないとお客さんに断言されてやけくそになっている「僕」を、なだめたいと思っている。

エ ピアノの調律に失敗してお客さんを失ってしまった「僕」を、はげましたいと思っている。

オ 調律の腕を否定された「僕」がやる気を失い仕事をやめるのではないかと、不安になっている。

(2) このように言われたときの「僕」の気持ちとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 柳さんから温かい言葉をかけられ、お客さんにしかられて傷ついた気持ち<sup>きず</sup>がやわらいでいる。

イ 柳さんにめいわくをかけたことが情けなく、自分は調律師を続けていいのかなやんでいる。

ウ 柳さんのやさしさはうれしいがその言葉をすなおには信じられず、柳さんをうたがっている。

エ 柳さんはなくさめてくれるが自分には才能がないことを知っているため、落ちこんでいる。

オ 柳さんにもうしわけないと思う一方で、ほんとうに自分は悪くなかったのかと考えている。

問三 ——— 線2「思わず聞き返す」とありますが、そのような態度をとったのはなぜですか。説明しなさい。

問四 ——— 線3「一足飛びに行けたなら」とありますが、実際にはそれはできないかと思っているのはなぜですか。最も適当な

ものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 目的地へ一気に進めるほどの素晴らしい能力が自分に備わっていることは、この先ないだろうと考えているから。  
イ 調律師の仕事はピアノを弾く人がいて初めて成立するもので、演奏者の要望を聞くことが大切だと思うから。  
ウ 自分以外の者が調律するときに、どこを修正したらよいかをわかりやすくしておくべきだと考えているから。  
エ 相手の要望をききながら調律するのが自分のやり方で、一気に進めるのは本来の性格に合わないと思うから。  
オ どこで間違えたのかを説明できるようにしたいので、つらくても一歩ずつ進む方が良いと考えているから。

問五 ——— 線4「怖い？」とありますが、「僕」はどのようなことを怖いと感じたのですか。適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 柳さんにはできて自分にはできないことがある事実と、向き合わされたこと。  
イ 自分が調律したピアノの音には何が足りないのかを、わかっていないこと。  
ウ 調律において具体的に何ができていないかを、自分がつかめていないこと。  
エ 努力して調律したピアノが相手の気分だけで評価され、否定されること。  
オ お客さんから拒否されて、自分の調律の未熟さを痛感させられたこと。

問六 ——— 線5「才能も必要に決まってるじゃないか」とありますが、  
(1) そのように言われたときの「僕」の気持ちを八十字以内で説明しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

(2) 柳さんは才能とはどのようなものだと考えていますか。十五字で抜き出しなさい。

問七 本文中から読み取れる内容として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 思うような調律ができずに悩む「僕」を見守りつつ、さりげなくその解決方法を示す柳さんのやさしいひとがら。

イ 柳さんに相談することで調律への怖さがなくなり、自分の才能を信じて突き進もうとする「僕」の前向きな様子。

ウ 調律の難<sup>むずか</sup>しさに悩みながらも、いつか思い描いた音を自分でつくり出せる日を目指して努力を重ねる「僕」の姿。

エ 客からしかられたことで調律することが怖くなった「僕」と、それをはげます柳さんとの間にめばえた信<sup>しん</sup>頼<sup>た</sup>関係。

オ 才能がない「僕」がそれ以外の能力でおぎなえるよう地道な努力を続けた結果、一人前の調律師になるまでの過程。



㊦ 次の各問いに答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

虫はカフンを運ぶ。

テレビのガメンが映らない。

手紙がトドク。

カブシキ会社を設立する。

桜のナミキが美しい。

問二 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

会議の記録を開示する。

究極の選択をせまられる。

魚を川に放つ。

選手を育成していく。

舞台の幕が上がった。

問三 次の——線部の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

彼は指折りの画家だ。

- ア 努力している
- イ 誰でも知っている
- ウ 優すぐれている
- エ 好かれてる
- オ 苦労している

胸がすくような演技だ。

ア 悲しくて涙なみだが出る  
イ はらはらして汗が出る  
ウ 気持ちが悪くなる  
エ 気分がすっきりする  
オ 心がうきうきする

ささやかな願い。

ア のんきな  
イ ちいさな  
ウ わがままな  
エ すてきな  
オ まじめな

問四 次の各文には誤った文字が使われています。その文字を抜き出し、正しい漢字に直しなさい。

多くの有名選手が出場している大会で、初新者の兄が準優勝した。

午後からは雨が心配されたが、運動会は準調に行われ、赤組が優勝した。